

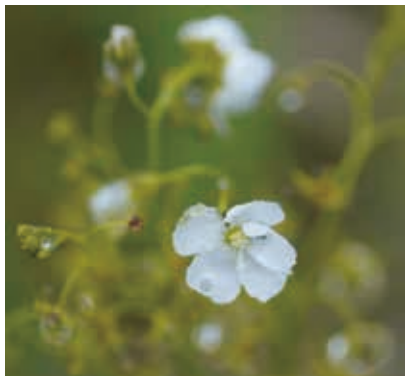
5 月植物観察会

5 月 10 日 (土) 9 時 ~ 12 時

自然保護グループ 岩崎志津子

雨が少し残っていたので、まずは参加者 11 名で、湯の華食堂でモーニングをしながらミーティングを実施。

雨がほぼ止んだので、イシモチソウを観察するために、可児とうのう病院近くの墓地に向けて出発。イシモチソウは私にとって初めて見る花だ。楽しみにしていたが、かろうじて残っているという状態だった。来年こそは満開の時期に観察したい。



粘液で石も持ち上げる食虫植物のイシモチソウ

次に、キンランに出会うのを楽しみに、可児川左岸 (城山コース) へ移動。咲いていると思ったキンランに花芽はなく、残念至極。来年こそはと、楽しみに待つことにする。

雨模様ではあったが、他にイヌコモチナデシコ・フタリシズカ・ユウゲショウ・シロバナマンテマ等々、沢山の花に出合えて、充実した観察会となった。



艶っぽい花色を持つユウゲショウ (タ化粧)

高屹山 (タカヤマ) 山行

5 月 14 日 (水)

登山グループ 井戸良江

帷子地区センターを 21 名で 6 時に出発。高山市の久々野クリーンセンターに到着してからは、荒れた林道をバスで登山口まで進む。8 時 45 分に登山開始。浮き石や苔で滑りやすい登山道を慎重に登る。途中、キランソウ・エンレイソウ・キケマン等の可愛い花に癒される。お立ち岩からは、位山三山が一望できた。更に登り、ふれあい広場に到着。そこからの御嶽山・乗鞍岳・穂高連峰・笠ヶ岳・槍ヶ岳等の絶景に、皆から歓声が上がった。景色を観ながら昼食を済ませて出発すると、すぐに高屹山 (1303.1m) に到着。

山頂から別ルートで下山を開始。急坂を慎重に下る。



足元に注意しながら慎重に登山する一行



柵の補修作業中

途中、「キンサンアカマツ」と「ギンサンカラマツ」の辺りからは緩やかになり、登山口に 12 時 10 分頃に到着。このルートではチゴユリ・ヤグルマソウ・ラショウモンカズラを観察。

道の駅に立ち寄ったあと、ダンゴ・焼き鳥の店にも寄り、帷子地区センターには 4 時半過ぎに帰着。

一斉パト・環境保全

5 月 22 日 (木)

保全グループ 高島勝

5 月 22 日に一斉パト・環境保全活動を実施。会員 17 名と市観光課 1 名が参加。

今回は西山ルートの西山 80 までの一斉パト活動と途中にあるササユリ自生地 2 か所の柵補修だ。真禅寺登山者駐車場に集合し、駐車場の川側法面に生えている細竹を伐採し、一斉パトをしながらみんなで手分けしてササユリ自生地まで運んで補修した。

少し蒸し暑い日で汗をかきながらの作業となったが、柵の補修がきれいに出て大変良かったと思う。あとは、今年もササユリが沢山咲いてくれることを願うばかりだ。

土田小カタクリ種まき支援

5月23日(金) 9時30分～11時10分

地域支援グループ 岩瀬雄一

毎年やっているカタクリ種まきだが、去年は種が採れず今年はどうなるか不安だった。しかし、しっかり実を付けてくれて、丁度4日前に採取できた。

当日は、79名の生徒と6名の先生、3名のボランティア、ともの会11名、それと可児市観光課から2名という大所帯で活動開始。

まずは、木漏れ日が涼しい公園に移動。カタクリの話を始めようと思ったら、ミミズや虫で騒いでいて集中してくれない。それでも、話し始めると興味深々、一生懸命聴いてくれた。



ヤマザクラの巨木の前でカタクリの学習

今年は、電柵の外側のカタクリがまばらなところに種を蒔く。「種蒔いていいよ～」の声で、一斉に柵を越えていく。ぱっと種蒔いてすぐに終わるか、と思っていたら、アリを探して種を持っていくのを観察したり、ムカデで騒いだり、マムシ取りのおじさんに話しかけたり、子供たちの興味は尽きず、気が付いたら時間になっていた。

終わりの会では、全員が大きな声で「楽しかった～」と気持ちを伝えてくれて、本当にやって良かったと思えた。この気持ちが鳩吹山ともの会の活動を支えているんだなぁと実感した。

種採りしてくれた皆さん、マムシ退治後もずっと子供達を見守ってくれた大脇老人会の皆さん、感謝です。



カタクリの種を撒く児童

6月植物観察会

6月7日(土) 9時～12時

自然保護グループ 金田誠

初夏を思わせる陽気の中、13名(うち一般1名)で観察会を実施した。

あぜ道コースでは、ジンバリアが黄色い花を咲かせていた。オッタチカタバミやイモカタバミといったカタバミの仲間も観察できた。

城山コースでは、ティカカズラの花が甘い香りを放っていた。コバンソウ・タツナミソウ・ナルコユリの花も観察できた。



甘い香りを放つティカカズラ

木曽川コースでは、ムラサキシキブとクララが美しい花を咲かせていた。見応えがあったのはユキノシタの群生だ。花が独特で面白い形をしている。



自然のアート、ユキノシタ

散居村・五箇山

6月11日(水)

登山グループ 佐藤正行

日本三百名山の白木峰(1596m)に向けて、6時に帷子地区センターを出発。ところが、白木峰の登山口に通じる林道大谷線が崩落で通行止めであることが判明して断念。

急ぎよ、行き先を南砺市の八乙女山

(756m)に変更。しかし、ここでも林道に崩落箇所があり、諦めて散居村展望広場まで戻った。



眼下に広がる散居村

広場からは防風林に囲まれた農家が散在している絶景が見られた。休憩室で雨を凌いで昼食を摂った。

その後、世界遺産「五箇山合掌の里」の「相倉合掌造り集落」に移動。集落の中を散策したり、展望台まで上って集落を一望したり、買い物したりと、1時間の自由時間を楽しんだ。

一斉パト・環境保全

6月19日(木)

保全グループ 高島勝

活動当日は二日連続多治見市が暑さ日本一になった日であったが、会員19名が参加。

カタクリルートの登山口から70～80m位の登山道両脇に例年笹草が沢山生え、秋口からの登山ではズボン等に実が付き皆さん大変嫌な思いをしている。今年は実が付く前に笹草を抜き取ったり千切りとったりする作業を実施した。汗だくになりながら作業を実施していただいたので、皆さん秋口の登山を楽しんで欲しい。その後は、暑さで参加者が減ったが、小天神休憩舎迄一斉パトで歩いた。



カタクリルートの笹草除去作業中

これからの活動予定一覧

【保全パトロールG 高島勝 中村睦子】

- 保全活動 真禅寺P／9時集合
- ・8月は休み・9月18日(木)

【登山G 千賀徳子】

- 乗鞍岳 長野県
- ・8月6日(水)
- 帷子地区センターP／6時集合

●俱留尊山 奈良県

- ・9月10日(水)
- 帷子地区センターP／6時集合

【自然保護G 水野可律子】

- 植物観察会 カタクリP／9時集合
- ・8月は休み・9月6日(土)

【事務局】

- 連絡会 土田地区センター／9時半集合
- ・8月は休み・9月4日(木)
- 会報発送 福祉センター／9時半集合
- ・9月23日(火)
- 入会者 なし
- 休会者 なし

【鳩吹山ともの会 連絡先】

Phone: (西川)

e-mail: